



志木市長 香川 武文

人と人との「つながり」を大切にしながら…

宿組八坂神社祭礼、宗岡三社祭から盛大にスタートした「志木の夏祭り」も、9月26日予定の志木ニュータウン森の祭りの開催を残すのみとなりました。私も各地域で夏祭りに参加させていただき、皆さんの熱気に包まれながら神輿と一緒に担がせていただいています。神輿を担ぐ方、太鼓を叩く方、屋台を出す方、警備をしてくださる方など、地域一体となり志木市を盛り上げようとする市民力に、改めて、心強さを肌で感じています。

毎年開催される「志木の夏祭り」をはじめ、地域の伝統行事には、先代たちにより長年受け継がれてきた人と人との確かな「つながり」があります。この「つながり」こそが、我々が次代へ大切に引き継いでいかなければならない「宝物」だと思っています。

志木市は「ベッドタウン」と呼ばれることがあります。ベッドタウンとは、都心で働く人々が夜になると眠るために帰ってくる場所という意味です。実際に、埼玉県の

昼夜間人口比率(市の人口に対する日中に市内にいる人の割合)は全国で最も低くなっています。中でも志木市は県内で2番目に低く、昼間の人口が夜間の人口を下回るベッドタウンの特性が非常に強い地域ということが見て取れ、「隣に住んでいる人がどんな人かわからない」「近所付き合いがほとんどない」といった地域コミュニティの希薄化も課題となっています。

また、近年、全国的に地域のお祭りなどの伝統行事が、担い手の高齢化や人口減少などにより、存続していくことが困難な地域も増えている状況ですが、地域の笑顔と元気につながる志木市の大切な伝統行事は、しっかりと守り抜いていかななくてはなりません。都心に近いという魅力もある一方で、人と人との関わりが薄れつつある今だからこそ、夏祭りや盆踊りなどの行事を通じて、普段なかなか顔を合わせることができない人と人が、地域の「つながり」を深め支え合う関係を築くことがとても大切だと思っています。

志木の夏は、まだまだこれから。8月には、各町内会主催の盆踊り大会や納涼大会が開催されます。志木市の伝統行事を皆さんとともに守り育てていくことが市民の皆さんの誇りとなり、「志木市に住み続けたい」という気持ちにもつながります。普段、地域の行事になかなか参加できない人も、今年の夏は、ぜひ、地域との「つながり」を意識しながら志木市の伝統行事に触れていただけたら嬉しく思います。